

補助事業計画書

名 称: 府中 太郎

I. 補助事業の内容

1. 補助事業で行う事業名【必須記入】 (30文字以内で記入すること)

小さい和菓子セットの開発及びイートインスペースの設置、および展開

2. 販路開拓等の取組内容【必須記入】 (販路開拓等の取組み内容を記入すること)

(1) ターゲット顧客と取組みの概要

<ターゲット顧客>

ターゲットは日ごろ和菓子を購入している高齢者、および30代~40代の和菓子にあまり馴染みのない世代です。半径5kmの顧客をターゲットとします。

理由: 当店では顧客の高齢化が進んでおり、既存の顧客を大切にするとともに、30~40代の顧客層を取り込む必要があるためです。

<補助事業で取り組む概要>

- ① 小さい和菓子セットの開発
- ② イートインスペースの設置
- ③ チラシの制作・配布
- ④ 地元紙への広告掲載

(2) 取組みの詳細

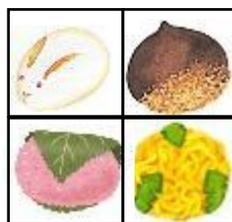
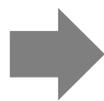
取組み内容の詳細は以下の通りです。

① 小さい和菓子セットの開発

現在の3分の1程度の大きさの和菓子を作り、4個を1セットとして提供を行います。サイズを小さくすることで人が感じる味の感覚も変わることからレシピは再度調整が必要となるため、試作品を作ります。



通常商品 (150円)

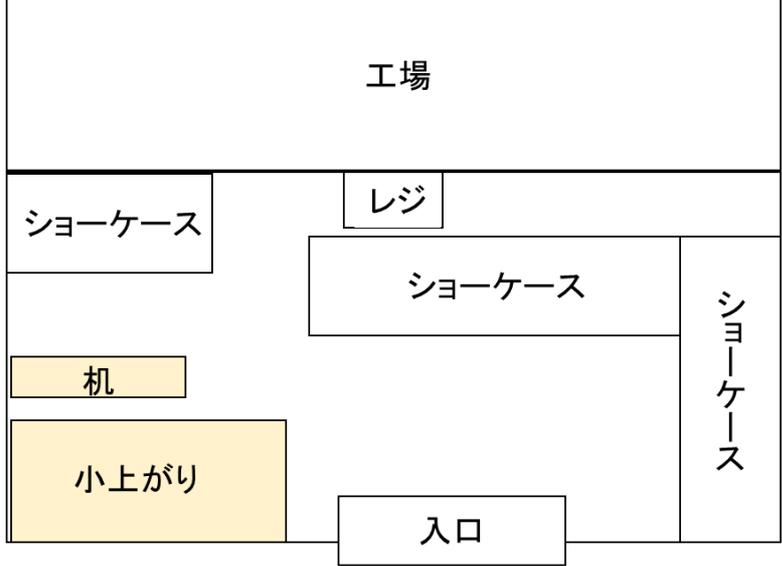


開発商品 (4種1セット、200円で販売)

② イートインスペースの設置

小上がりの座敷を作り、机を用意して、イートインスペースを設置します。購入した商品を気軽に食べられるだけでなく、試食を置くことでいろいろな味を試していただき、和菓子の魅力にふれてもらいます。

椅子に座ってられない小さい子供を連れた30代~40代にはちょっとした休憩に利用いただき、現在の顧客層である60代以上にもお茶を飲んでいただきながらゆっくりできる場所とします。



③チラシの制作・配布

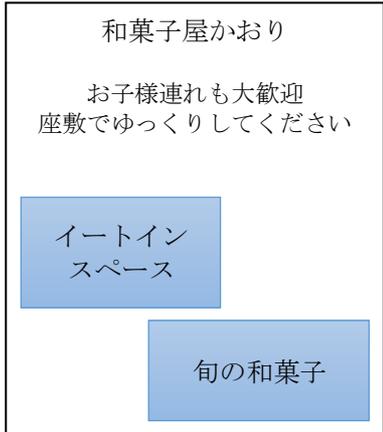
＜チラシの制作＞

子育て中の30代40代にも気軽に利用いただける店舗に改修したことが分かるチラシを制作します。イートインスペースが小上がりの座敷であり、赤ちゃんや幼児を連れて安心して来店できることを訴求します。（右図、チラシイメージ）

＜チラシの配布＞

チラシは、ターゲットとしている半径5km以内に配布を行います。右表は、当店から半径5kmエリアで30代40代が多い地域のリスト（27年国勢調査）です。右に記載されているエリアに対して優先的にチラシの配布を行います。

エリアへの配布は計5,000枚×2回を予定しています。



	30代・40代	30代	40代
	3,300	1,500	1,800
〇〇町1丁目	430	200	230
〇〇町2丁目	430	180	250
〇〇町3丁目	340	160	180
〇×町2丁目	300	100	200
〇△町4丁目	280	150	130
□〇町2丁目	270	150	120
△〇町1丁目	270	130	140
△〇町1丁目	260	110	150
〇△町1丁目	250	100	150
×〇町2丁目	240	120	120
〇〇町9丁目	230	100	130

④地元紙への広告掲載

30～40代の人が目を通すような地元紙（フリーペーパー）への広告掲載を行います。和菓子店は敷居が高いと思われていますが、それを打破するような気軽に足を運んでいただける和菓子店であることをPRします。

現在検討している地元紙は以下の通りです。

- ・月刊誌「府中で遊ぼう」 10月に掲載
- ・月刊誌「府中 One Team!」 11月に掲載

<創意工夫した点>

- ・商品種類を増やすことなく、大きさを変えることで、開発資源を共有できます。
- ・イートインスペースはテーブルとイスではなく、小上がりにすることで、小さい子供を寝かせることもでき、30～40代の来店ハードルを下げることができます。

(3) 推進体制

補助事業は以下のような実施体制でおすすめします。

	役割	担当者（役職）	スキル
社内	全体統括	府中 次郎 (代表の息子)	和菓子専門学校を首席で卒業後、10年前より事業に参画している。2代目である。
	商品開発	府中 太郎 (代表) 府中 次郎	代表は創業当初より商品開発を行っている和菓子職人。
	イートインスペースの運営	府中 こうめ (息子の妻)	本店の販売を担当しており、常連顧客の知り合いも多い。
外注	イートインスペースの設計・施工	むさし府中工務店	飲食店や小売店の施工実績が多い。
	チラシ制作・配布	府中本町企画	飲食店や小売店の制作実績が多く、地元精通している。
	地元紙広告	フリーペーパー	地元ウォーカー、ほっと地元

(4) 補助事業の実実施計画

補助事業は以下の通り進めます。

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
小さい和菓子開発	○	○	○	○	○	
小さい和菓子販売						○
イートインスペースの設計・施工	○	○				
チラシの制作			○			
チラシの配布				○	○	
地元紙広告掲載作業				○	○	
報告書処理						○

3. 補助事業の効果【必須記入】

(1) 顧客のメリット

- 一度に4種類の和菓子を楽しむことができる大きさにしており、60代以上の既存顧客のニーズに応えることができます。
- 4種類のセット販売であるため、今まで自分では選ばなかった和菓子を食べる機会があります。
- イートインスペースの設置によって、子供が小さい30~40代の親も気兼ねなく来店することができる。また既存顧客である高齢者もゆっくりすることができます。

(2) 当社への効果

- 新たな商品、イートインスペースによって、新たな顧客層の開拓ができ、業績に繋がります。
- 後継者が事業を統括し、かつ商品開発において代表と後継者である息子が協力して進めることで、技術の承継が可能となります。
- 広告宣伝を行うことで、当店の認知度が向上します。
- 売上・利益に関するメリットは以下の通りです。

単位：千円	直近期末	2020年	2021年	2022年
合計	15,000	15,400	17,000	18,000
既存事業	15,000	15,300	15,500	16,200
補助事業	—	100	1,500	1,800

<積算根拠>

補助事業で開発する小さな和菓子セットは0.2千円であり、2020年12月より販売を開始、1日20個の販売(0.2千円×20×25日)を目指します。2020年は1日25個、2021年は1日30個と徐々に販売目標を伸ばしていくことを目標としています。

補助事業による来店で、小さな和菓子セット以外の商品の購入につながると考えており、既存事業でも売り上げが伸びる目標となっています。

(3) 社会・地域への効果

- 若年層に和菓子を知ってもらうことで、その魅力を伝えることができ、日本の和菓子文化を継承することができます。
- イートインスペースによって、地域住民のコミュニティの場としても利用いただけます。
- 業績が上がることで、地元地域で雇用を創出することができます。

※採択時に、「事業者名称」および「補助事業で行う事業名」が一般公開されます。
※欄が足りない場合は適宜、行数・ページ数を追加できます。

市外への発注予定がある場合は、発注先(予定)とその理由を必ず記載してください。

II. 経費明細表【必須記入】

(単位：円)

経費区分	内容・必要理由	経費 (単価×回数)	補助対象経費 (税抜・税込)
外注費	イートインスペースの設計・施工 ・座敷の小上がりにより新規顧客を獲得するため	600,000円	600,000円
広報費	チラシの制作	20,000円	20,000円

	・イートインスペース、 新商品を訴求したチラシ をプロにお願いするため		
広報費	チラシの配布 ・イートインスペース、 新商品を地域に発信する ため。	40,000円×2回	80,000円
広報費	地元紙広告 ・イートインスペース、 新商品を地域に発信する ため。	50,000円×2回	100,000円
(1) 補助対象経費合計			800,000円
(2) 補助金交付申請額 (1) × 補助率 2/3 以内 (円未満切捨て)			300,000円

※経費区分には、「①機械装置等費」から「⑩外注費」までの各費目を記入してください。

※補助対象経費の消費税(税抜・税込)区分については、公募要領 p.37 参照のこと。

※(2)の上限は30万円。

Ⅲ. 資金調達方法【必須記入】

<補助対象経費の調達一覧>

区分	金額 (円)	資金 調達先
1. 自己資金	500,000	
2. 持続化補助 金(※1)	300,000	
3. 金融機関か らの借入金		
4. その他		
5. 合計額 (※2)	800,000	

<「2. 補助金」相当額の手当方法>(※3)

区分	金額 (円)	資金 調達先
2-1. 自己資金	300,000	
2-2. 金融機関 からの借入金		
2-3. その他		

※1 補助金額は、Ⅱ. 経費明細表(2)補助金交付申請額と一致させること。

※2 合計額は、Ⅱ. 経費明細表(1)補助対象経費合計と一致させること。

※3 補助事業が終了してからの精算となりますので、その間の資金の調達方法について、ご記入ください。

(Ⅰ. からⅢ. の各項目について記載内容が多い場合は、適宜、行数・ページ数を追加できます。)